

# がん情報サロンボード

2017/01/05

がん情報サロン 富田 明人

## あけましておめでとうございます

新年あけましておめでとうございます。皆様にはつつがなく新年をお迎えになったことと存じます。

我が家では、元旦は小豆雑煮で祝うのが恒例の行事となっていますが、皆様のお家ではいかがでしょうか。子供の時は母が前夜から煮込んだ小豆雑煮でしたが、近頃はお店で買ったゆであずきで代用しています。

初詣は熊野大社に参詣するのが我が家のいつもの行事です。今年は天気が良く車が渋滞するのは毎年のことですが参道に行列ができ30分以上並んだのは初めてでした。たまたま良い天気に恵まれたのか、幸運を願う人々で境内は人人でした。

昨年はがん治療分野に画期的な変化がみられました。従来がん治療は外科療法、放射線療法、薬物療法の3大療法が基本でしたが、DNA解析技術が急速に進歩した結果自分のゲノムやがん細胞の遺伝子異常を調べる事が出来るようになり、これを活用したがん治療の新しい分野としての免疫療法という選択肢が増えました。

従来の薬物治療はがんの種類による治療で副作用のみで治療効果が得られないこともありました。DNA解析の進歩は患者一人一人に合った投薬の実現が視野に入りオーダーメイド医療の方向性も見えてきました。

高額のがん治療薬が話題となりました。がん治療薬「オプジーボ」、この薬は患者一人に年約3500万円かかるといわれ、国内価格は米国や英国の2~5倍の高額で、医療保険制度や財政を圧迫するとの議論が沸騰し国は薬価を半額に下げると決めたことと報道されました。患者には安い薬が提供されるのは有難いですが、同じ薬の薬価が欧米に比べ2~5倍高い理由が分からずいきなり薬価が半額に下げることの仕組みも理解できないですね。

今年も課題が多い年となりそうです。皆様には元気で幸せな年になりますように！！

(富田)